

# 株式会社青葉ギフト

様々な商品のデジタルギフトを作成できるプラットフォームを保有



KANAGAWA SDGs PARTNER  
神奈川県 | SDGs推進 株式会社青葉ギフト

## 福祉施設の商品と交換できるデジタルギフトで社会貢献の輪を広げよう

～共生社会の実現を目指して～



会社で社会貢献を担当したときに、学んだこと、感じた課題をもとに、  
「福祉商品と交換できるデジタルギフト」の事業化に至りました

## 項目

### 1. 事業化のきっかけと解決の方向性

- (1) 会社員時代に社会貢献を担当したことで
- (2) なぜ、デジタルギフト ・ 解決の方向性は

### 2. 福祉(社会貢献)用に開発したデジタルギフトを使った取組み

- (1) 福祉施設の商品との交換は、「店頭」と「WEB」で
- (2) 地域単位のギフトで、地域貢献にも有効
- (3) 「三方良し」のスキームで、「社会貢献の輪」の拡大を目指す

### 3. 目指す姿と皆様との協働イメージ

## 学んだこと

(前提となったこと)

- 施設利用者の月額工賃が、  
15,000円程度（当時）で、全国的な長年の課題となっている

令和4年度の平均工賃（月額）：厚生労働所の資料より

全国 17,031円 神奈川 15,795円

※最高は福井県 22,211円、最低は大阪府 13,681円

- 工賃向上のためには、売上の向上が必要

寄附では工賃に直接つながらず、商品や作業の対価が工賃の源泉になる

- 仕事への意欲は、喜びから生まれる（私も同様）

表情豊かな人も照れのある人も、表現はそれぞれですが、作った商品が売れたり、喜んでもらったりすることで、作る人にも喜びが生まれ仕事への意欲につながる

## 課題と感じたこと

### 企業や団体の声

社会貢献や地域貢献が求められているが、

- ・ 事業と関係のない**労力(時間)の捻出を継続的に行うのは困難**
- ・ 福祉商品を注文・採用したいが、**大量の受注は敬遠される**

## 課題と感じたこと

### 消費者(市民)の声

- ・ 福祉商品の売上に協力したい気持ちはあるが、**日常での接点がなく、**  
何があるのか、どこにあるのか、**知らない**

## 課題と感じたこと

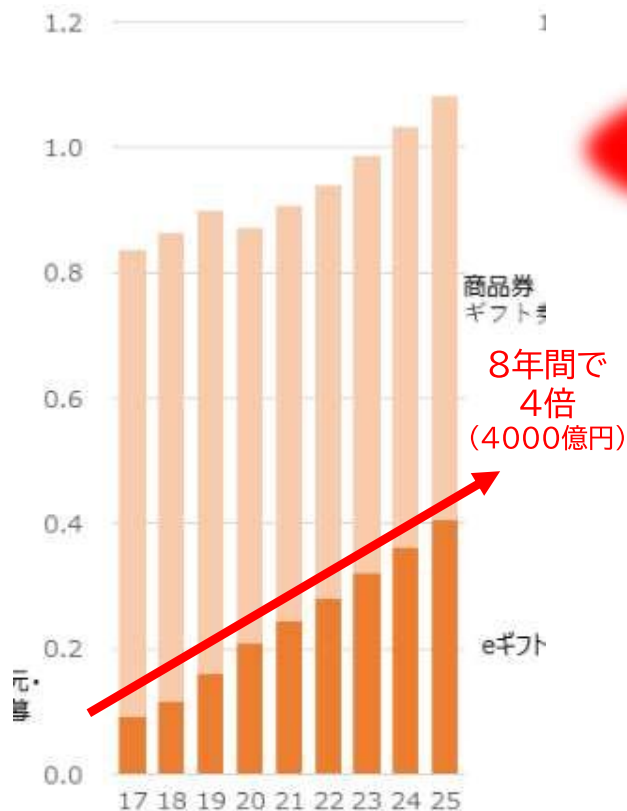
### 福祉施設の声

- ・ 大量生産ができないため、自治体や企業との取引が難しい
- ・ 福祉作業で余裕がなく、企業や団体への恒常的な営業活動は困難
- ・ 福祉施設と縁のある方や販売会場の職員の方など、  
お客様が限定的になりがち

## デジタルギフトの特徴

法人需要で急激に  
拡大（移行）

商品券・デジタルギフト  
市場規模



矢野経済研究所 資料より

紙のギフトをデジタル化することで

- メール等で配布可能 ⇒ 送付や保管の費用が削減
- WEB等との連携 ⇒ スキームが多様化
- システム開発 ⇒ 省力化、多機能化

「神奈川発」

「ともに生きる社会かながわ憲章」の訴求

福祉用の機能を装備したデジタルギフトで、  
福祉商品の抱える課題に対応

企業や団体のニーズ

大量注文の受入れ

顧客との接点を拡大

福祉商品と交換できるデジタルギフト

福祉とつながるデジタルギフト  
Greenery Gift

## 商品への交換

## ：商品や作品を通じた福祉施設との接点創出

### メッセージカードタイプ などの場合

- ・QRコードを読み取ることで  
ギフトを取得できます
- ・メッセージカード以外でも  
QRコードを印刷した  
タイプのギフトは同様です



### ギフト

URLコードもしくはQR  
コードから取得できます



- ①
- ②
- ③

### ① 店頭交換できる場所を確認

- ・店頭交換できる場所を確認する  
画面です
- ・上部に郵便番号1～7桁を入力する  
ことで絞込ができます



### ② 店頭で交換

- ・店頭でお買物券として交換(利用)  
するときに使用する画面です
- ・店頭でショップコードを確認して  
入力してください
- ・入力後に「交換する」をタップ  
すると「交換店舗」が表示されま  
すので、確認の上交換してください



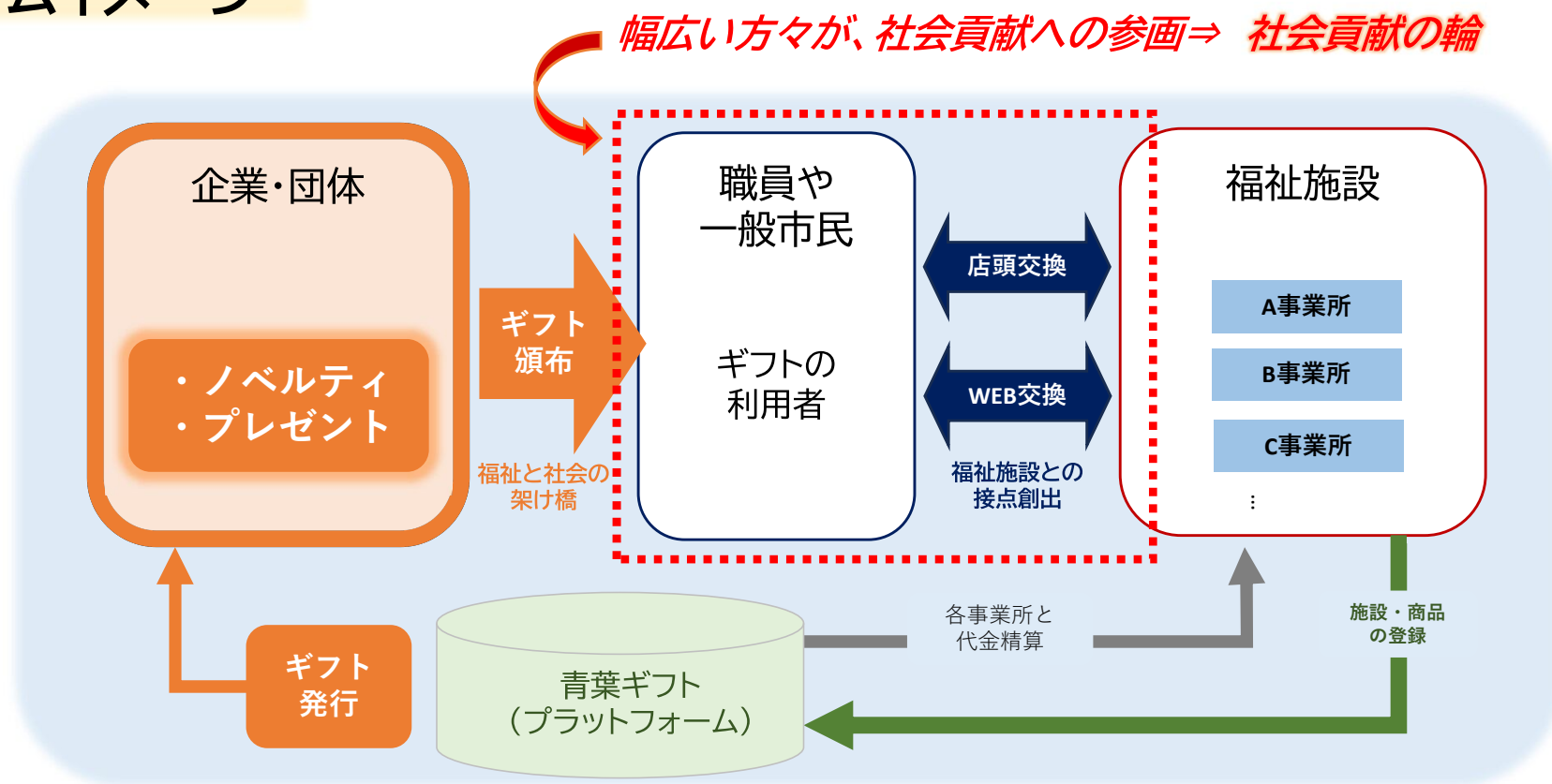
### ③ WEBで商品を選んで交換

- ・WEBで商品を選んで交換する画面  
です
- ・表示された商品から、お好きなもの  
をお選びいただき上部の「決定」  
をタップしてください
- ・決定後に商品の送付先住所を入力し、  
内容の確認をの上交換となります
- ・入力された送付先の情報は、  
注文メールを送付後に  
サーバより消去いたします





## スキームイメージ

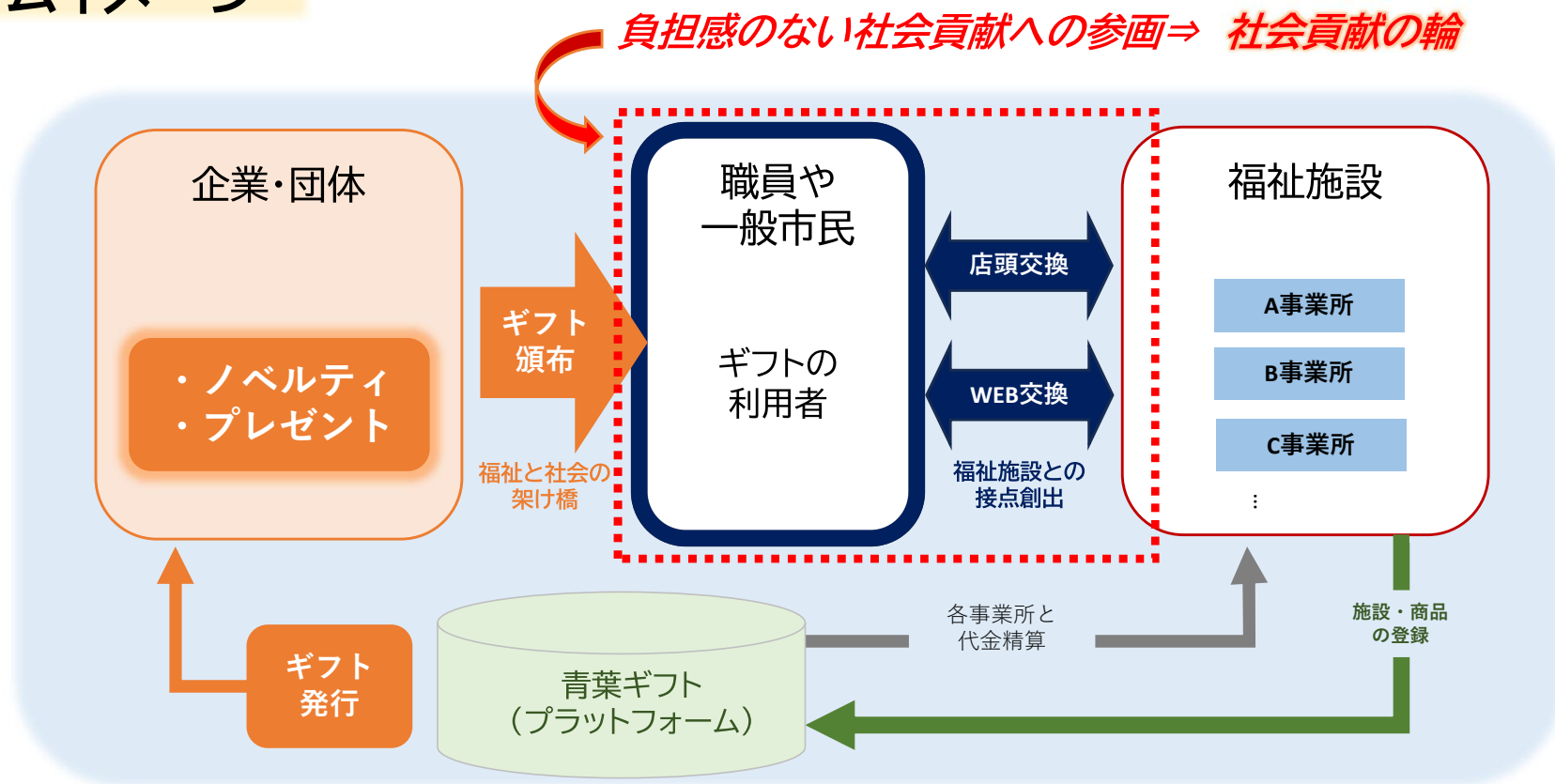


### ◇企業・団体の皆様のメリット

社会貢献が求められる中、

事業活動や福利厚生が社会貢献活動になり、**活動そのものの価値が向上**

## スキームイメージ

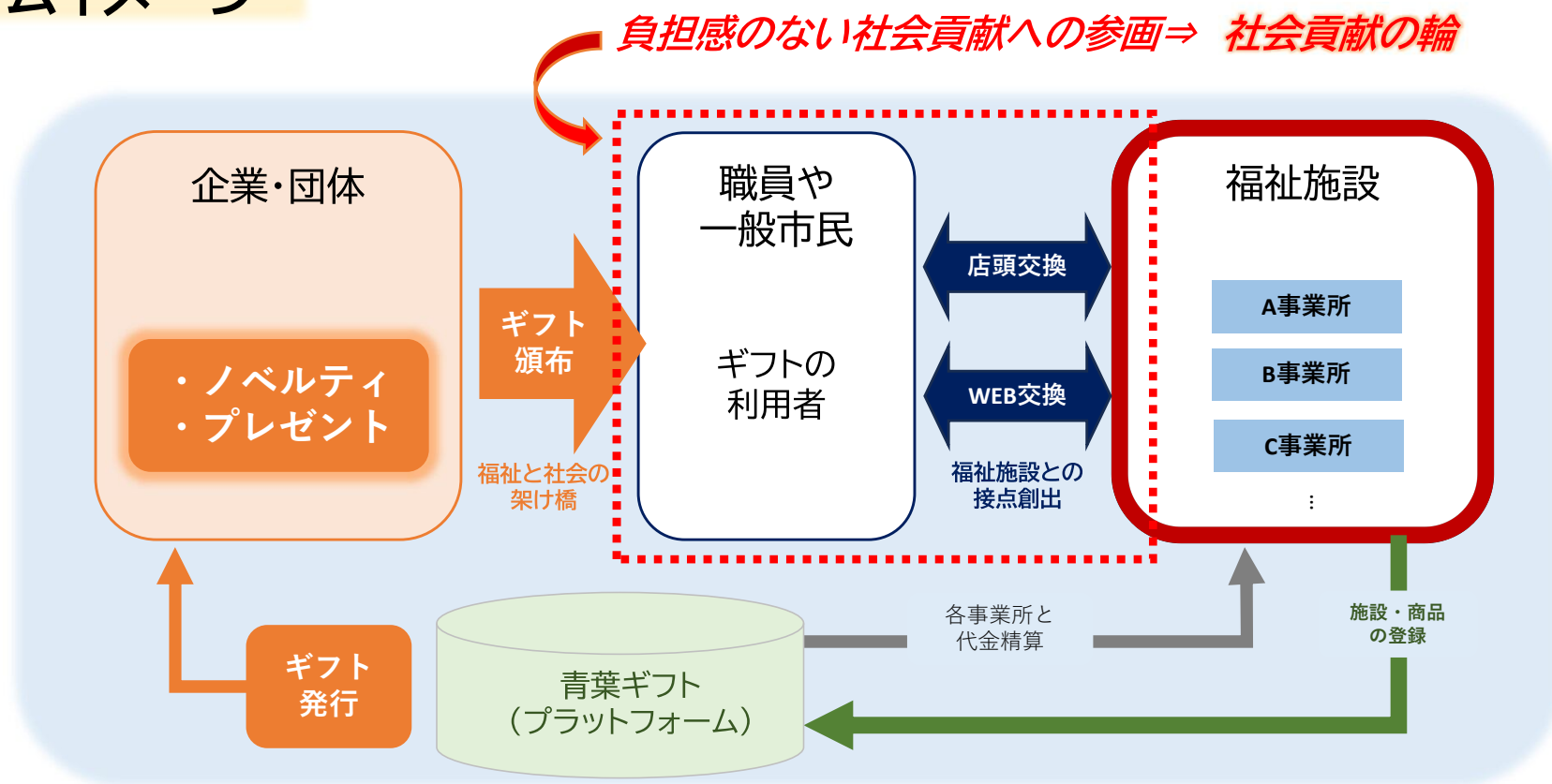


### ◇職員や市民の方のメリット

今まで、障がい者福祉と縁のなかった人も

ギフトを交換するだけで、負担感なく、福祉施設の「商品や作品」を通じた接点生まれ、相互理解の深まりと施設利用者の工賃向上の活動に参画

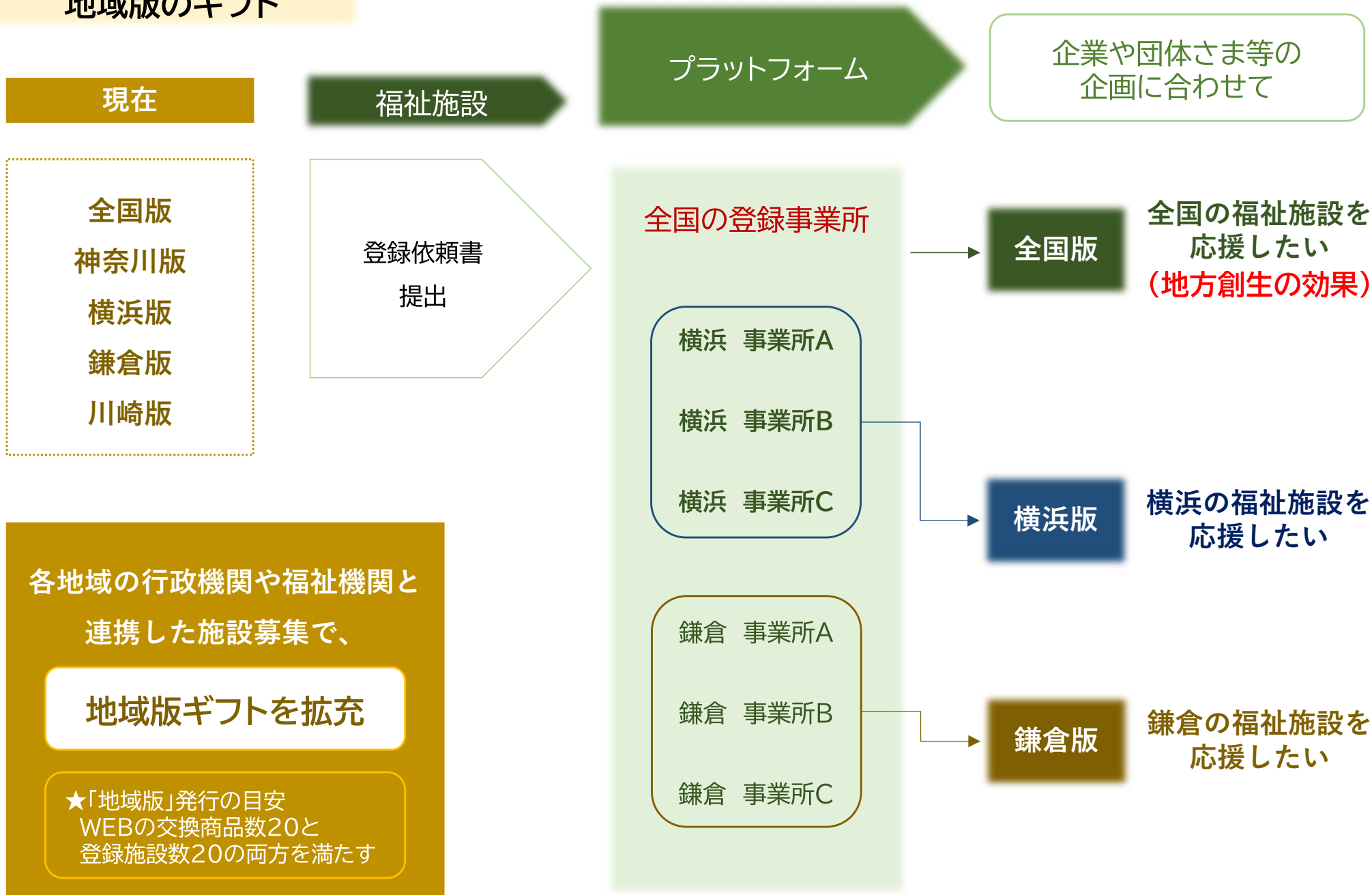
## スキームイメージ



### ◇福祉施設のメリット

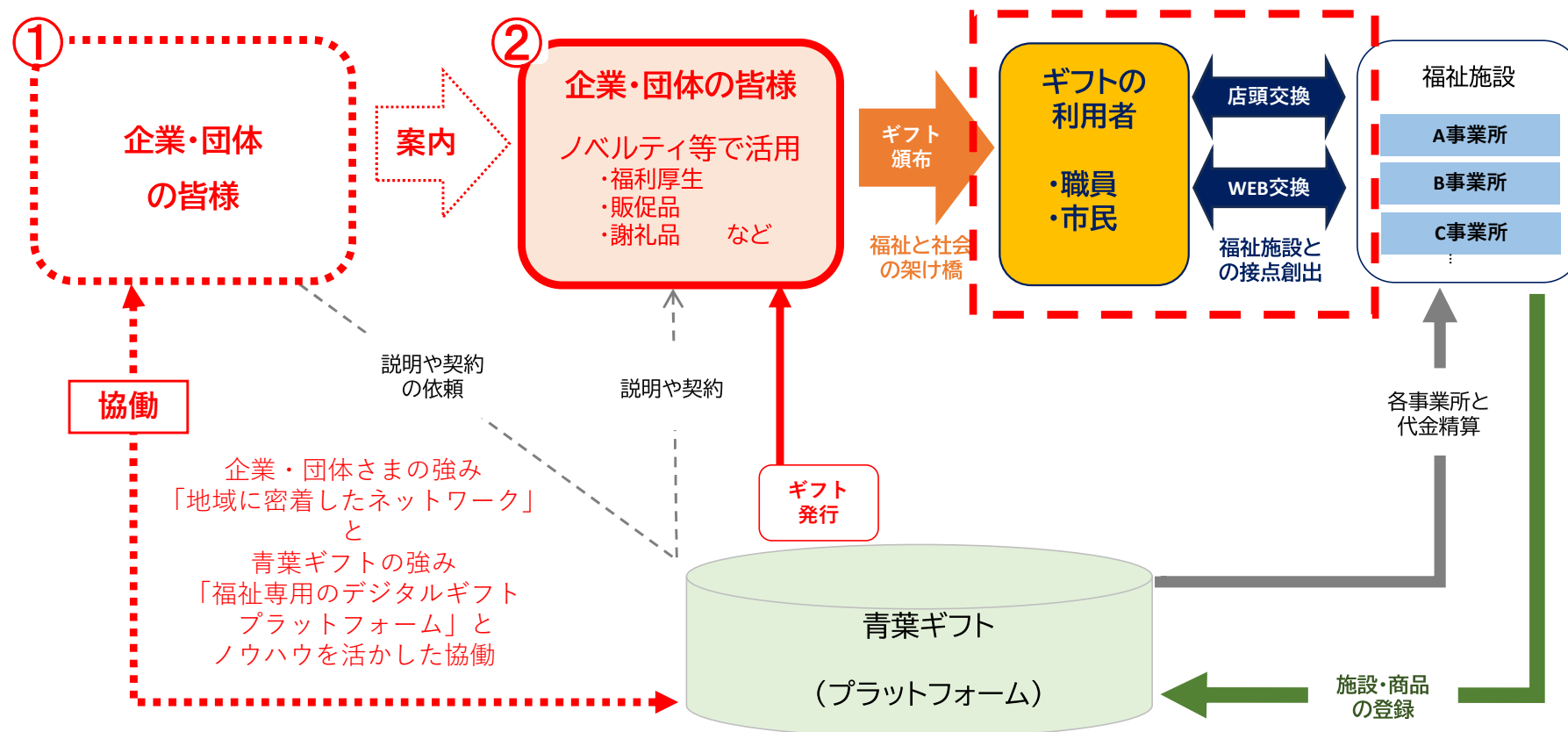
負担感が小さい販路の追加で、顧客との接点生まれ、  
さらに施設利用者に工賃向上と売れる喜びを提供

地域版のギフト



## 目指す姿と皆様との協働イメージ

- ① 日常の活動の中で、取引先や顧客にSDGsの実践手法として案内
- ② 従業員へのSDGs意識の醸成、販促用のノベルティやプレゼントとして活用



### ★協働で期待する効果

協働いただく企業の従業員さま、協働いただく企業のお客様 等、  
幅広い方に社会貢献の輪に加わっていただくことで、  
共生社会づくりや施設利用者の工賃向上にむけた歩みが加速

# ご清聴ありがとうございました

広げよう社会貢献の輪 ～共生社会の実現を目指して～



福祉施設の商品と交換できるデジタルギフトで社会貢献の輪を広げよう

～共生社会の実現を目指して～

募集期間 2024年11月19日～12月31日



(かながわベンチャー限定クラウドファンディング)